

すぐるCADにより工程材料を自動算出します！

特許出願中

【概要】

アクセス系工事設計者の工程・材料算出は、通建業界の共通的な課題であり、設計工程調書と施工管理システム等の重複作業を解決するためのツールになります。

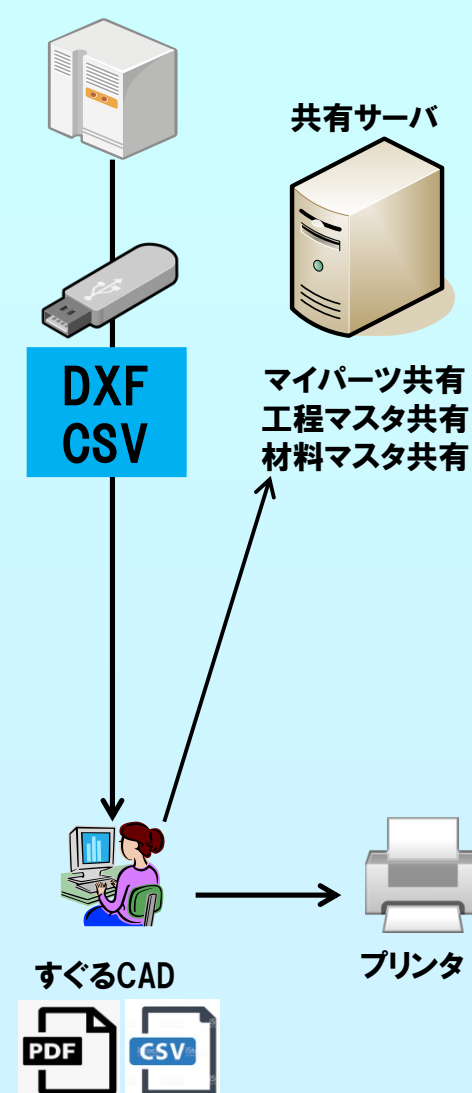
設計図の元データは、Optosシステムよりダウンロードした図面(DXF)ファイル、設備情報(CSV)ファイルを取込み、設備・材料等の情報を取得できます。

取得した設備情報により既設の撤去、新設設備の工程・材料を自動算出できます。

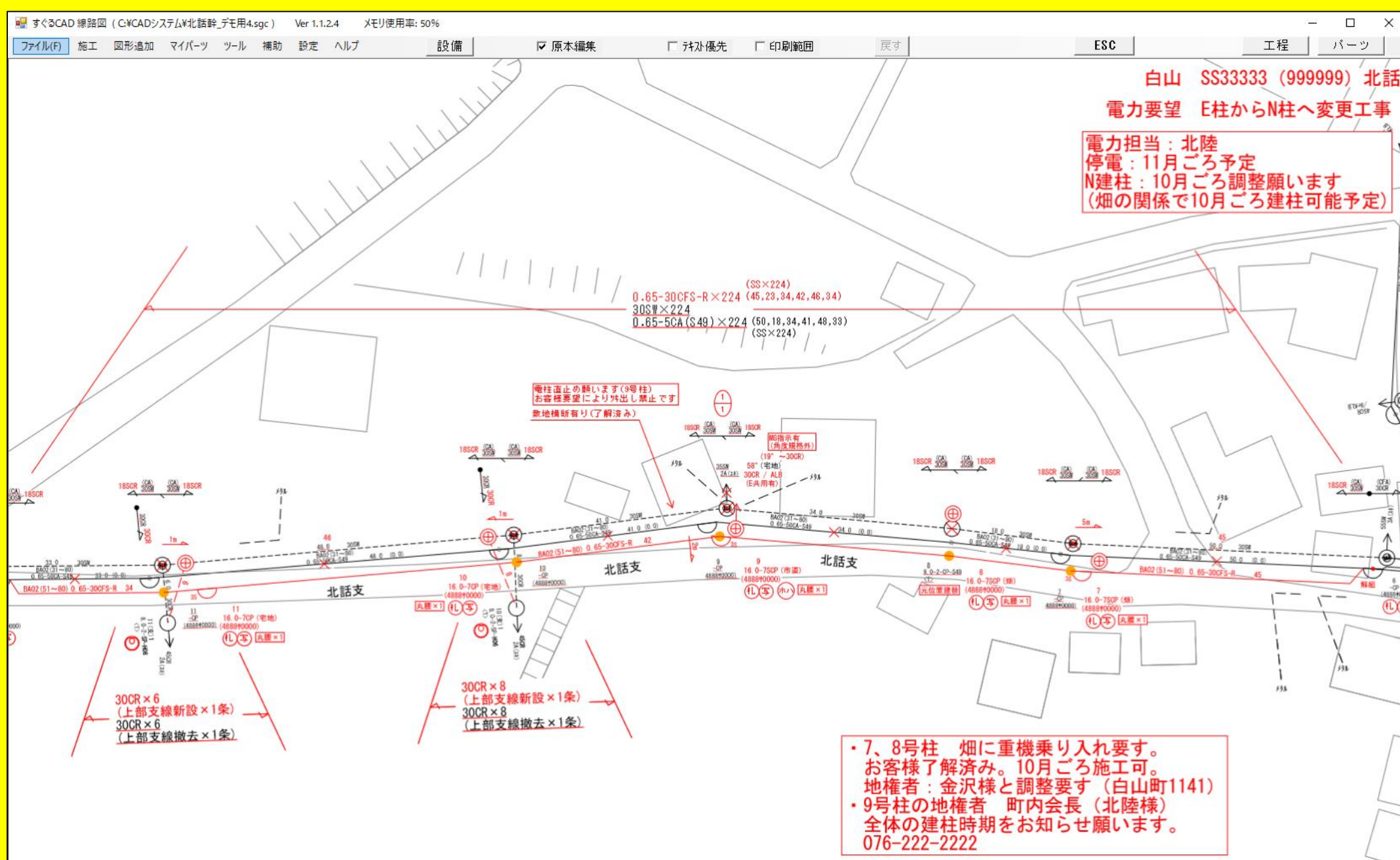
また、通建施工管理システムに流通できるCSVファイル項目を柔軟に変更できます。

【構成】 Optosシステムよりファイル取込み、設計作図を行う

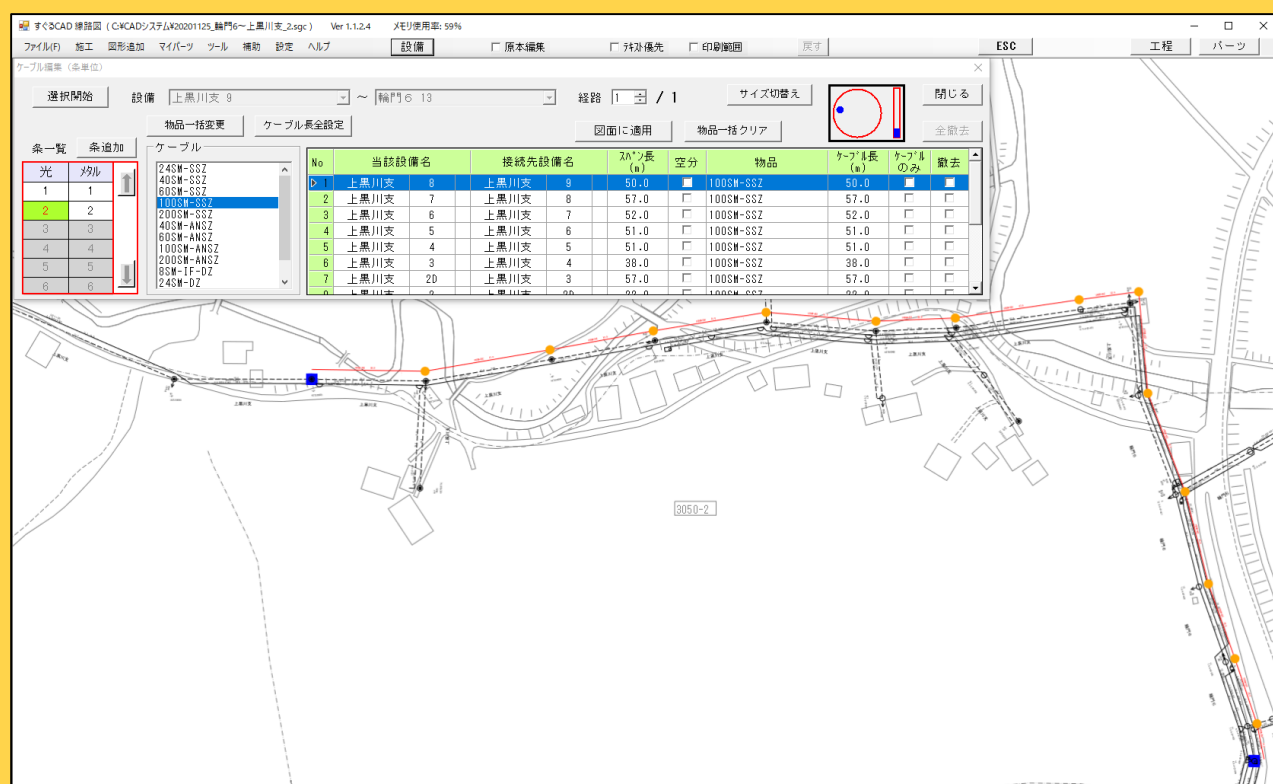
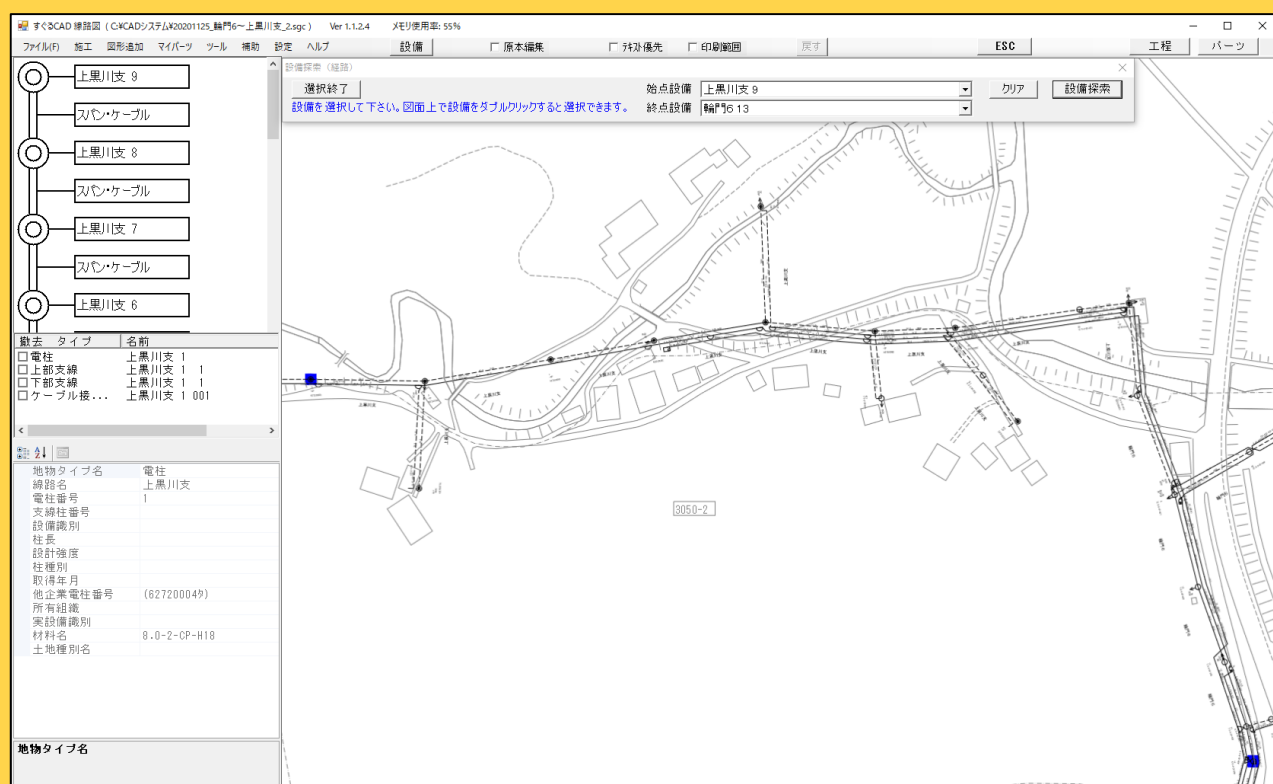
Optosシステム



設計作図



設備情報の活用 (高度無線化工事での長スパン設備の情報表示、ケーブル敷設のイメージ ※下図は14スパン)



Hokuwa

設備事業本部 テクニカルエンジニアリング センタ

〒921-8044 石川県金沢市米泉町10丁目1番地153

☐TEL 076-240-1844 ☐FAX 076-240-1803

☐URL <http://www.hokuwa.co.jp>

情報と通信の未来を創る

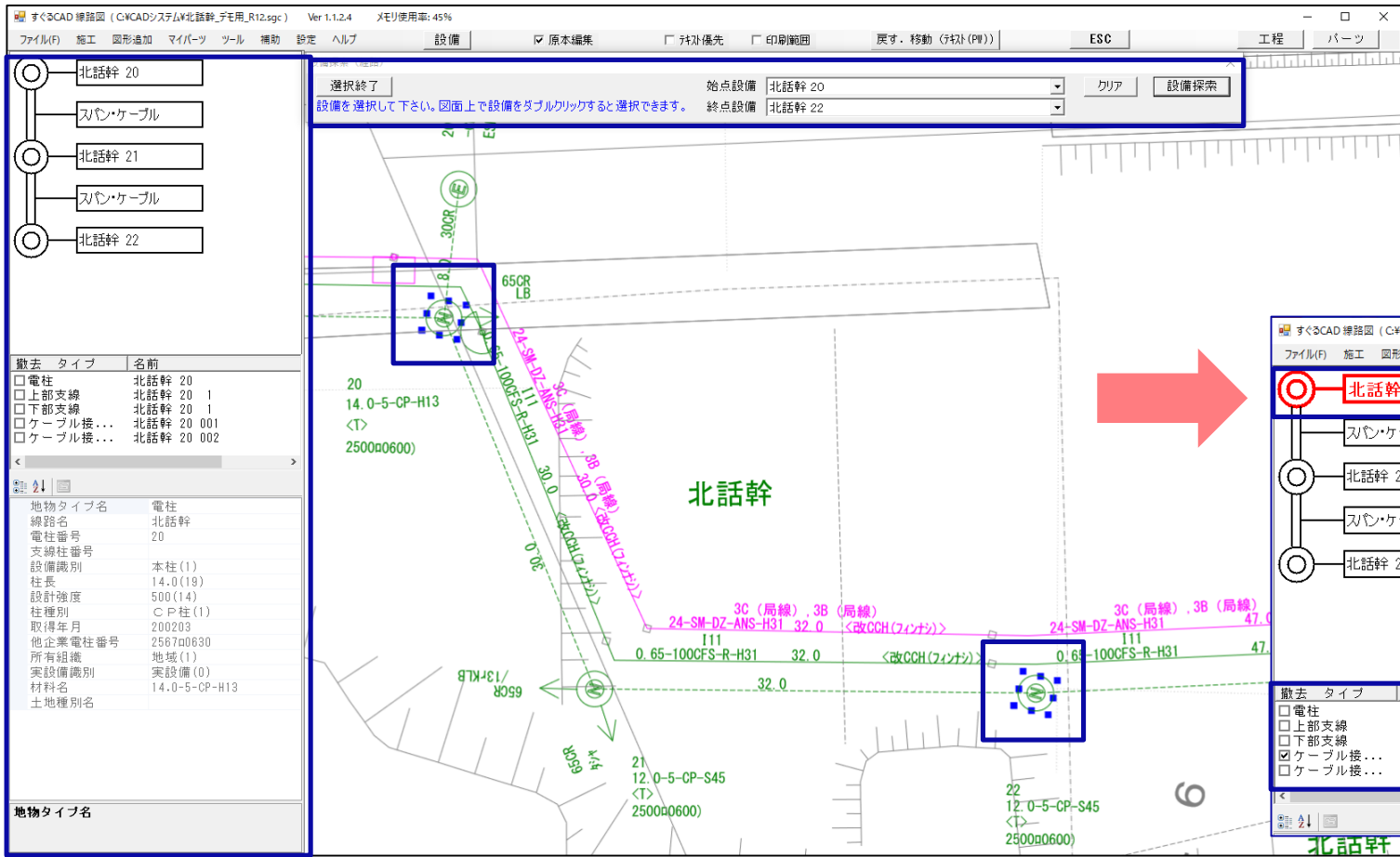
北陸電話工事株式会社



COMSYS-Grp

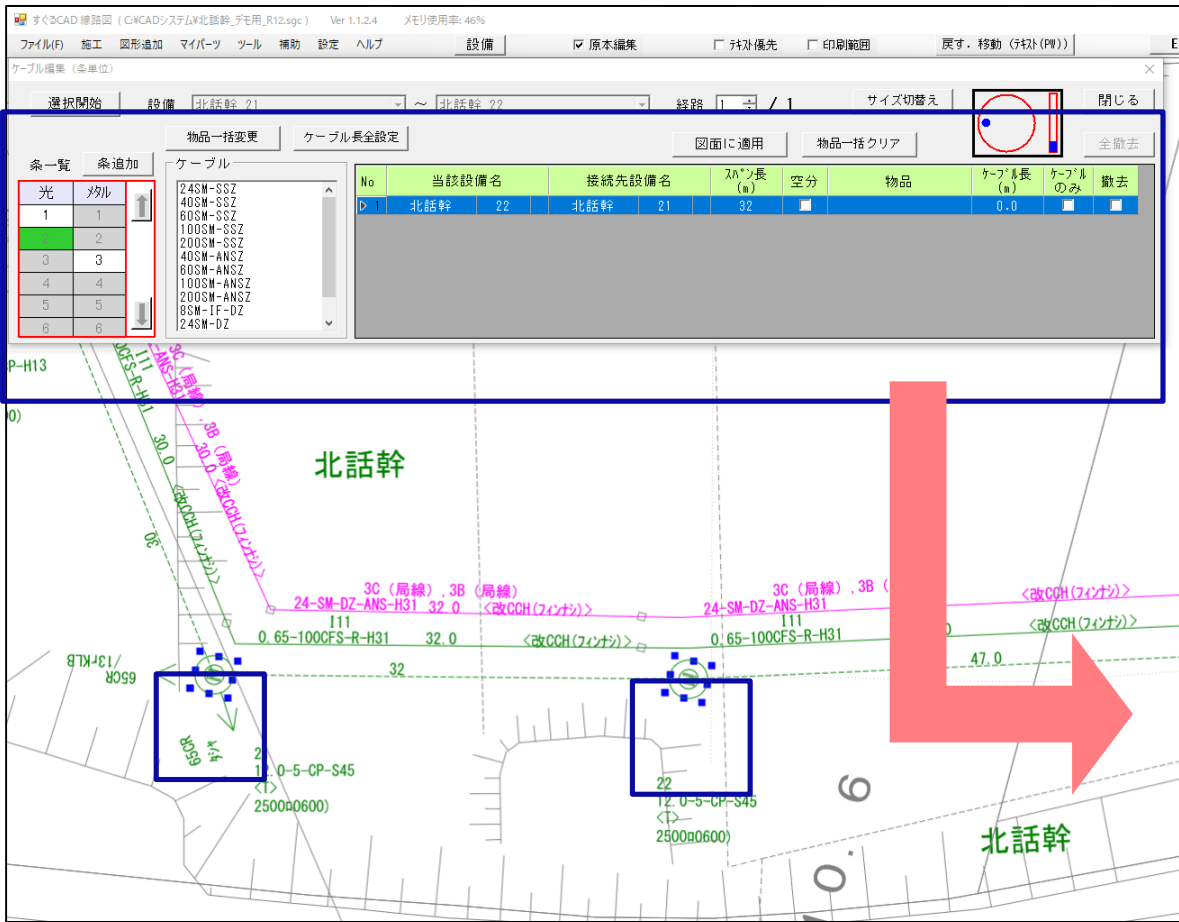
主な作図の流れ(既設設備の活用)

1. 電柱シンボルを選択し情報を取得する

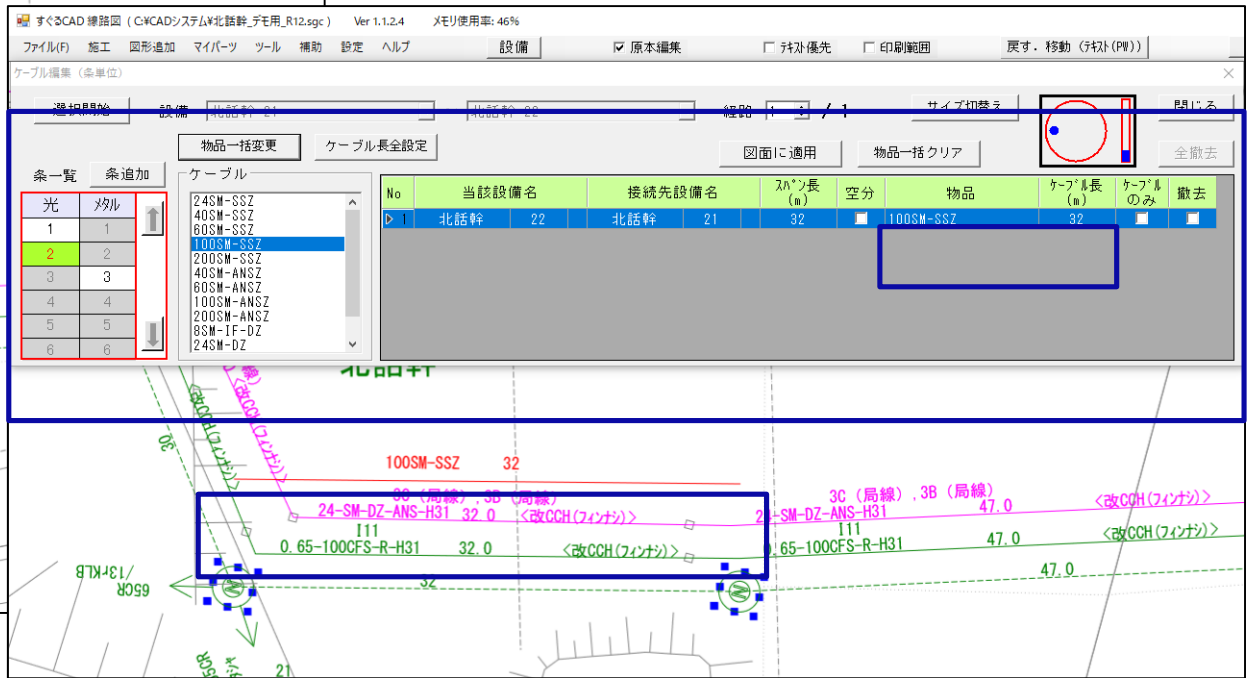


設計図面の電柱設備(始点設備、終点設備)を選択し、その電柱間にある電柱やケーブルなどの設備情報を参照できます。
撤去のチェックを付けた設備には×が描画されます。

2. 設備情報を取得し作図に活用する

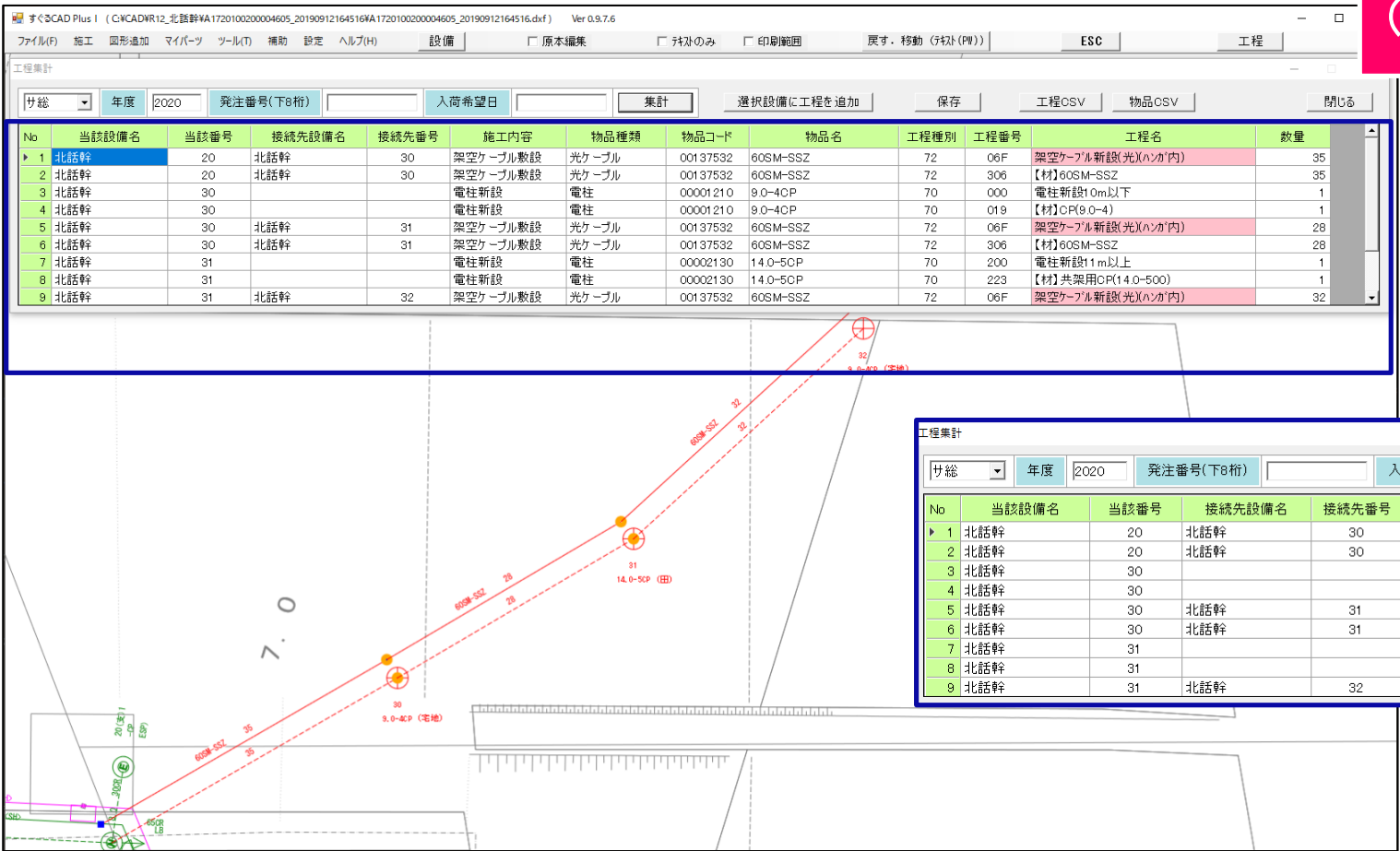


設計図面の電柱設備(始点設備、終点設備)を選択し、その電柱間にある既設ケーブル情報を取得でき、スパン長からケーブル長を引き継ぎ、空いている条の位置にケーブルを追加することができます。



工程材料の自動算出

1. すぐるCADで作図した情報より工程・材料を取得する



「品質」の確保

工程自動算出により、工程チェック不要
(電柱新設、支線、ケーブル敷設、接続端子かん、撤去工程)

すぐるCADで描画した設備情報より、工程・材料の自動算出ができます。

材料に対する約定工程が複数ある場合、工程名欄の背景が赤色となり、上記のように選択します。
確定後は背景が青色になります。